

千葉県湾岸地区道路検討会幹事会（第1回） の開催結果概要

令和元年9月3日（火）

国土交通省、千葉県、千葉市、市川市、船橋市、習志野市、市原市、浦安市及び東日本高速道路(株)の9者は、今回の幹事会において、以下のとおり意見交換及び確認した。

■千葉県湾岸地域の交通課題

- 湾岸地域は、広範囲で渋滞損失が大きく、平均旅行速度が低いこと
- 船橋市～千葉市の一般道路（国道357号）と高速道路（東関東道、京葉道路）の総交通量は、交通容量を超過していること
- 船橋市～千葉市の一般道路（国道14号、国道16号、国道357号）を通行する大型車の約4～8割が通過交通であること
- 千葉港の機能強化や周辺の開発計画に伴い、今後、周辺道路で交通需要の増大が見込まれること

■周辺環境に配慮すべき検討上の課題

- 三番瀬再生計画との整合性の確保や、千葉港港湾計画及び周辺開発計画や環境等に配慮すること

■千葉県湾岸地域のポテンシャルと課題

- 湾岸地域は、千葉県の経済活動の中心であるとともに、国際拠点港湾である千葉港の背後に、全国的にも高いシェアを誇る産業が集積するとともに、東京ディズニーランド、幕張新都心といった観光拠点、ならびに東京湾内地域を中心とした水産業も活発であり、ポテンシャルが高いこと
- 湾岸地域の死傷事故件数は千葉県内の約4割に達し、そのうち、生活道路で発生する死傷事故件数が約6割を占めること

■今後の進め方について

- 規格の高い道路計画については、湾岸地域の交通課題の状況、ならびに千葉港の機能強化や周辺開発計画により増加する交通需要も踏まえ検討すること
- 三番瀬再生計画との整合性の確保や、千葉港港湾計画及び周辺開発計画や環境等の配慮にあたっては、民間港湾事業者や漁業関係者等への丁寧な説明を行っていくこと
- 規格の高い道路の整備効果把握にあたっては、湾岸地域のポテンシャルと課題に応じた整備効果を共有すること
- 各沿線市の湾岸地域における具体的な交通課題や将来計画について、共有すること
- 幹事会において、沿線市の意見を踏まえた、規格の高い道路計画の基本方針を確認すること
- 引き続き、幹事会において周辺自治体と意見交換を図り丁寧に検討を進めていくこと